

新庁舎整備についての町民説明会（令和7年5月18日（日）開催）

当日の主な意見と町長からの回答

※意見及び回答については要約・集約して掲載しています。

	1回目	2回目
時 間	午前10時から正午まで	午後2時から午後4時まで
場 所	国府支所2階会議室	保健センター2階研修室
出席者数	23名	会場58名、オンライン19名

番号	意見	回答
1	毎年2億円を返済する場合、財政への負担はどの程度あるのか。他の予算を削る等するのか。	50億円の町債を30年間で返済すると年間2～3億円程度返済する必要があります。固定資産税や住民税を引き上げる等単に増税を行っても、地方交付税が減ってしまうため、税外収入やふるさと納税を上げる努力等をして住民サービスが低下しない方法を考えていきます。
2	本当にこの数字で収まるのか。これからも事業費は上がると思うが、一回決めたらからではなく、慌てず町民との意見を交換する場を改めて設ける等して考えていただきたい。	町議会の決議に従い、最善のプランを考えたのが今回の説明になります。見直し内容を踏まえた予算を6月の補正予算に計上し、事業を進めていきます。
3	リモート等がここ数年急激に進んでいるので、庁舎の使い方についても今後大きく変化していく可能性があるため、柔軟に対応できるように、町民の意見を聞いて決めてほしい。	庁舎の使い方などの町民の意見を伺う場については今後考えていきます。
4	焦らず、用地先行取得等を利用し、取得した用地に新しく庁舎を建てる方がいいのではないか。	現在の庁舎は耐震性が低く速やかに建て替えを行わなければならない状況で、現在の土地で速やかに建て替えを行うことが町議会の決議であり意思です。ご参考の案は用地先行取得に近い考え方になりますが、移転となると議会の意思に添えないため、現在の土地で進めていくことが最善案と考えます。

5	アスベスト工事費用を前回の42.6億円の際にも総工費に含めていれば地方交付税が増えていたのではないかと。	緊防債は本体工事費が対象となるため、アスベスト対策工事は対象とはなりません。
6	プレハブ棟など、役場を分散させる等は考えられないのか。	適切なビルや空いている公共施設がないため難しいと考えます。
7	ノジマ大磯スクウェアの建物は後何年程度使用できるのか。	一般的な耐用年数で考えると20年程度使用できると想定しています。
8	ノジマ大磯スクウェアに移転した場合、現庁舎の敷地は売却するのか。	ノジマ大磯スクウェアへの移転は仮定の話であるため、お答えできません。
9	議決に引っ張られずに振り出しに戻り考えてほしい。	耐震性が不足している建物の中で、職員が働き、町民の皆様がいろいろと手続きをするという危険性を1日も早く除去していくために町議会の決議を、私たちは最大限尊重し取り組んでいきます。
10	新庁舎の現地建て替えを進めながら、代替案についても検討することは可能なのか。	町としては現敷地にて建て替えが最適な案であると考え、補正予算を計上し、進んでまいります。
11	なぜノジマ大磯スクウェアに移転しないのに説明会で知らせているのか。	町民の方からノジマ大磯スクウェアに移転したらどうかと意見をいただいたので、町として町民の皆様へのご回答という意味で参考としてお話をさせていただきました。しかし、仮移転では地方交付税が貰えないこと、本移転では議会の意思に反してしまうことから、この案は進めることが出来ないという結論に至りました。
12	議会は町民が選出した議員であり、その方々が決めたことについては尊重したい。町長も議会もお互いに理解しあって進めて頂きたい。	議会の意見を尊重し、ご意見やご意向を伺いながら進めており、その結果として補正予算を提出させていただきます。
13	このようなプロジェクトはプロジェクトチームを編成して検討していただきたい。	本日出席している町職員が新庁舎整備の担当として職務を行っています。
14	庁舎が老朽化している状況で仮に今被災した場合、危機管理体制として町役場の機能を維持するにはどうするのか。	ノジマとの協定により、ノジマ大磯スクウェアを代替庁舎として使用できることとなっています。

15	ノジマ大磯スクウェアに移転した場合、駐車場はどのようなのか。また、20年使用可能とのことだが、20年後の建て替え資金はどのようなのか。	仮定の話ですが、基金の運用や土地建物の売却費用が資金として使える可能性があります。駐車場についても仮定の話ですが、メール等で手続きが行えて来庁しなくて済むようにする等が考えられます。
16	被災した際の仮庁舎への移転の協定はいつ締結したのか。	令和5年に締結しました。
17	移転の際の地方交付税は20年後にももらえるのか。	未確認ですが、恐らく交付はされません。
18	ノジマ大磯スクウェアは傾斜が激しい場所にあるが、障がい者に対するの対応はどのようなのか。	仮定の話ですが、エレベーターの新設等が考えられます。
19	町長も町民に選ばれた町民の代表であるため、議会が一度決めたからではなく、町民の声を聞いて進めてほしい。町民の声が届いていないように感じる。	議会についても町民の皆様から選ばれた方々で構成されているため、町民の声は議会にも届いていると考えます。それを踏まえて、議会の意思を尊重しなければならないと考えます。
20	資料に「町民負担」という記載があるが、町民負担ではなく、町負担という記載が正しいのではないか。町民等が収めた税金等を町がどのように活用していくのかという話であり、町民が直接借金を負うものではない。ふるさと納税や税外収入なども借金返済に充てれるのだから町民負担ではなく町負担と記載すべき。	町民負担が分かりやすいという意見もあれば町負担が分かりやすいという意見もあるため今回は町民負担と記載させていただいています。町負担の方が良いとのことでしたら次回からは記載方法について検討してまいります。
21	今後人口が減り財源も減る中、学校問題等全部先延ばしになってしまう。現実合った形でノジマ大磯スクウェアが使えるなら使った方がよい。	毎年2億円から3億円の借金返済が発生すると消防庁舎や学校の建替え等は大丈夫かということの問題意識は十分に理解をさせていただいております。 しかし、町役場の建替えについては町議会が決議をされておりますので、私としてはそれに沿って準備をするという以外にございません。

22	町議会で補正予算が否決された場合はノジマ大磯スクウェアに移転するという計画に移行できるのか。	私たちは予算を提出し、お認めいただくという姿勢で臨んで参りますが、否決された場合は他のことを考える必要性が生じるかと考えます。
23	6月議会に現在検討中のプランを提出とのことだが、ノジマ大磯スクウェアは仮の話でここに新庁舎を建て替えるという方向で理解していいのか。	現敷地にて建て替えを前に進めるという方針を決めたので補正提出をします。
24	ノジマとは津波等発生における緊急避難所としての使用に関する協定、それと大磯町本庁舎等使用不可能時における施設使用に関する協定を結んでいるかと思うが、ノジマ大磯スクウェアに移った場合は災害時に庁舎が利用できない場合のノジマ大磯スクウェアに代わる施設を考えているのか。	ノジマ大磯スクウェアは耐震性の確保が出来ており、倒壊の危険はなく、津波の心配も無いので、代替庁舎は取り急ぎ必要はないと考えています。ただ、リスクヘッジのために大磯中学校に機能の一部を移す等の対策はいくつか既に考えてあります。
25	今回建てようとしている施設はZEB認証の施設なのか。ZEBの場合、今後かかってくるランニングコスト等は分かっているのか。	新しい新庁舎はZEB等の環境の目標基準をクリアしているものにする計画です。ランニングコストは計算していません。
26	総事業費が84億円は高い。一般会計予算の7割にも及ぶ。別の土地を探して計画を練り直した方が良い。この場所はダメというばかりではなくどうやったらうまくいくかを考える必要がある。	地方交付税の約20億円をもらうためには来年3月末までに契約をしないといけません。
27	新庁舎計画の1階部分を減らし階数を低くし面積を小さくすれば安くなるのではないか。	面積を減らせば事業費は安くなりますが、地方交付税をもらうためには津波対策として2階以上に役場の機能を集約し、津波被害にあっても役場の機能が損なわれないようにする必要があります。
28	ノジマ大磯スクウェアの費用41.6億円の中身を詳しく教えていただきたい。	ICTや引っ越し費用等の追加的費用11.6億円を含めて41.6億円と試算していますが、具体的な検討を行っているわけではありませんので、詳細についてはお答えできません。
29	ノジマ大磯スクウェアの改修にZEBは含まれているのか。	仮定の話なのでZEBの試算はしていません。

30	基金は新規建設の場合でなければ使えないとのことだが、20年後の基金の考え方について、規約を変える等で使用することは出来ないのか。	使わなかった基金を運用して20年後の資金に出来る可能性はあります。
31	土地を売却して資金を捻出するという方法は検討しないのか。リースバック等で捻出する方法もあると思うが。	ノジマ大磯スクウェア移転は仮定の話ですので検討しておりません。
32	ノジマ大磯スクウェアに移転となると前面道路が一方通行であり、道路も狭い等様々な課題があるが建物の資金だけでなく、周辺整備等も踏まえて計画をしていかないといけないのではないのか。	ノジマ大磯スクウェアについては町民の方からのご意見にお答えするため、参考までに試算したものですので、ご提示をしている資料より踏み込んだ分析はしておりません。他に不動産鑑定等の調査をするための予算が必要となります。
33	役場を今の場所で建て替えるという決議を議会がしたのはいつか。	令和5年6月29日の決議になります。
34	決議の後、建設業含めて費用負担が大きく変わっている。議会の方々も決議をそのまま進めていいと思っているのか疑問である。今の新たな状況を踏まえて考えたら、もう一度検討してもらえないのか。それでもうまくいかなかったら選挙を行えばいい。	私からはお答えできません。
35	6月補正が承認された場合、検討のプランが進むことになるが、それに対して再考を求める方法はないのか。	私からお答えできません。私どもは町議会の決議にそって仕事を行い、予算を提出させていただきました。
36	もし提出した補正予算が否決された場合、その後のタイムスケジュールはどうなるのか。	議会の決議に沿って仕事をさせていただいて、その結果補正予算を提出させていただいているため、否決されるとは考えておりませんが、仮に否決された場合は緊防債の期限に間に合うように来年3月末までに方向性を決めて業者と契約をするように再出発する必要があると考えますが、大きくプランが遅れてしまうことが懸念されます。

37	新たな事業計画の際には議会にかけなければならないのか。	議会の承認をいただく必要があります。
38	補正予算が否決された場合、間に合うようにノジマと契約できるのか。	補正予算を否決されることは想定しておりません。
39	議会に代替案を示さないから議論が出来ないと聞いた。	代替案を示すようにお話を受けたことはありません。また、16日には第二次新庁舎整備特別委員会という議会の委員会でご参考という形でご説明させていただきました。
40	大きな決断になると思うので、町民、議会、町長をはじめ、皆でエゴを捨てて、町にとって何を残したいのか、未来に何を残したいのかと思いながら、一緒にやって頂きたい。	私はエゴ無く、町民の皆様のために自分の全力をささげて仕事をさせていただくという覚悟で町長をやらせていただいております。
41	2月の町民説明会で意見があったとのことだが、どちらの会場であった意見なのか。	保健センターの会場であった意見です。
42	ノジマ大磯スクウェアのことだけではなく、消防や学校等の数10年先、全体のまちづくりを進めていく大きなチャンスになるのではないのか。	行政は、決めたことをずっと同じようにやるという習慣のある組織ではありますが、政治がしっかりとコントロールをして、政治の部分が時代の流れに応じた町民のために何が一番必要なのかというのを常に考えて行動すべきと考え政治をしております。
43	ノジマ大磯スクウェアに移転して20年後に建て替えか、新庁舎を建設して50年後に建て替えか、人口が減っていく中で慎重に議論をしていただきたいが、早めに決断はしてほしい。	補正予算を提出し新庁舎を現敷地で建て直すプランで進むという決断をしています。
44	ノジマ大磯スクウェアの方が良いという意見が多いかと思うが、庁舎を建て替える場合もメリットがあると思うが。	職員や町民の安全性の確保や災害時の指揮系統の確保がありますが、このメリットはどこへ建て直しても変わらないと考えます。
45	難しい土地に建てた庁舎として建築を学んでいる学生に見学させる等で収入は確保できないのか。	多額の収入が得られるのであれば方策として検討できますが、恐らく大きな額は見込めないと考えます。

46	今日の説明会で参考として代替案を示されたが、これから進めるのは6月議会に予算を提出し認めていただくというのは腑に落ちない。	ノジマ大磯スクウェアの試算については皆様からのご要望にお応えして調べてみた結果をご参考としてご説明させていただきました。しかし、ノジマ大磯スクウェア移転の案では議会の決議に沿った対応にはならないので断念したということを説明いたしました。
47	議決と決議の違いとは何か。	議決するというのは予算や条例に対して行います。決議は文書で行政に対して一定の方向を向いて仕事をしなさいと議会として投げかけるものです。
48	アドバイザー契約をしている業者はどのような仕事をしているのか。その助言に基づいて今回の話になったのか。	アドバイザー業者のアドバイスに基づいて今回のプランを作らせていただきました。
49	町長と議会と町民で自由に意見を言い合う場を作るしかないのではないか。	行政で、できるものではありません。

上記の他に当日回答を求められなかったご意見は下記のとおりです。説明会では回答を行いませんでしたが、貴重なご意見として受け止めさせていただきます。

<ul style="list-style-type: none"> ・ノジマ大磯スクウェアに移転した方が建て替えよりも安く早くできるのならそちらを検討してほしい。 ・話を聞いていると、町長と議会がお互いのせいになっているように感じる。方向性が決まっており、引き返せないので進みますという言い訳にしか聞こえない。一回立ち止まって精査する方法はないのか。 ・町長も町民が大磯町を良くしようと選んだ議員と同じ立場の方なので、お互い丁寧な説明が必要なのではないか。大磯幼稚園の建替え計画についても知らない間にストップがかかった状態で町長から丁寧な説明がなかったと聞いている。その辺りからボタンの掛け違えを起こしているのかなと心配である。 ・議会を傍聴したときに「議会の決議は、一度したら変えられない」と発言していた。それでは町民の意見がなくなってしまうのではないか。世の中は変わっていくので町長にも議会にももう一度考えを整理してほしい。 ・津波が来る場所に庁舎を建てるのは間違っている。 ・議会と町長と町民とのコラボレーションによって、非常にすぐれた道を生み出したねと言われるようにしていただきたい。環境の変化に即してプランを変更するのは当然のことである。 ・津波が来なくても台風等の高波で大変危険な場所なので、少しでも山側の土地に移転すべきである。
